

～ 職場環境要件 ～

介護職員等処遇改善加算・特定処遇改善加算を算定するにあたり、職場環境状況をホームページ等を活用し、当施設の取り組み内容を下記に公表致します。

	職場環境要件項目	当施設としての取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	パンフレットやホームページ等に明確化している。
	事業所の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	研修受講の為にシフト調整や受講料の負担を行っている。
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	幅広く採用を行い働きやすい環境を整えている。
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援（研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む）	研修や講習を受けやすい環境を整えている。
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや正規職員への転換を行っている。
	有休休暇が取得しやすい環境の整備	定期的に希望届を出す仕組みを整備している。
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	介護ソフトの活用による情報共有、記録の電子化による業務負担軽減を行っている。
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	年に1度健康診断およびストレスチェックの実施を行い、従業員の休憩室を確保している。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務両の縮減	介護ソフトの活用による情報共有、記録の電子化による業務負担軽減を行っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	朝礼（申し送り）・定期的な会議・委員会等でコミュニケーションを図り内容改善に取り組んでいる。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	定期的な会議等でその都度共有している。